

CHORUS、使っています

石川 毅

1. CHORUS とは？

「皆さんは CHORUS、使っていますか？」数年前にとある会議でこう聞かれた。小心者の私は「すみません… CHORUS って、何ですか？」とも聞けず、話の流れでどうやらそれが授業支援ツールらしい、と推測することしかできなかった。なので、今こうして CHORUS について書き始めている私のことを、皆さんは不思議に思われるかもしれない。そして、その後 CHORUS について猛勉強をし、エキスパートになったのだらうと想像されているかもしれない。でも実際はそんなことはなく、少し使い方の練習をした程度である。今回は「そんな私でさえ CHORUS が使えています」というご報告である。

改めて紹介すると、CHORUS とは、Rikkyo V-Campus 内にある、教員が各授業用にカスタマイズすることができる学習支援ウェブサイトである。以下のような機能がある。

- (i) 掲示板のように学生に連絡事項を伝える「講義内容」「お知らせ」機能。
- (ii) 9 種類のテストを作成できる「テスト」機能。
- (iii) あるテーマに沿って学生の投稿を受け付ける「ディスカッション」機能。
- (iiii) レポート提出をさせる際、「期限を過ぎたら受け付けない」「期限後何日何時までは受け付ける」などの設定ができる「レポート」機能。
- (iiiii) Word ファイルや動画などを添付しておく「教材」機能。

(iiiii) 学生に自分の出欠状況を閲覧させることができる「出席管理」機能。

全ての機能の解説は CHORUS の取り扱い説明書にお任せするとして、ここでは、実際に私が「(ii) テスト機能」と「(iiii) 教材機能」をどのように活用しているかについてご紹介していく。

2. カスタマイズ可能な「テスト機能」

普段活用しているのは主に英語 e ラーニングで使用する「テスト」機能であるが、その他の授業をご担当の先生方も参考になる部分もあるのではと思うので、もうしばらくお付き合い戴きたい。この「テスト」機能を使うと「多肢選択」「並び替え」「マッチング」「穴埋め」など、様々なタイプのテストを作成することが可能である。CHORUS が提供しているのはあくまでもフォーマットなので、ご自身のイメージしたテストタイプを選択し、そこに内容を埋め込んでいくことでテストを作成することができるようになっている。作成に関しては始めは少し戸惑うかもしれないが、慣れてしまえばスムーズにできると思う。尚、どのテストタイプも解答可能期間（開始日及び終了日）、解答可能回数や合格点を選んだり、自動採点をして学生に模範解答を公開する（又はしない）ことが可能である。年度が変わっても、過去に作成したテストは再利用が可能なので、非常に便利である。以下、具体的にどのような場面でのようなテストを利用しているのかを述べる。ここでは PC 教室での授業を想定

しているが、他授業での応用も可能であると思う。

(i) 慣らし運転クイズ (正誤問題)

4月や9月の学期開始時、CHORUSの操作に慣れていない学生達は「自分にできるのだろうか」と不安に思っているものである。そこで、実際の英語テストなどを行う前に慣らし運転として日本語を使ったクイズ、しかも解きながら思わず「ニヤリ」としてしまうようなトリビアクイズを作成し、初回授業で行っている。これは操作初心者には負担のない二択クイズで、機械操作に慣れさせる目的の他にも、場を和ませる効果や、教師に対する親近感を持たせる効果もある。(「スヌーピーはコンタクトレンズをつけている」「DHC(サプリメントなどで知られる会社)は、大学/翻訳/センターの略である」「自分の両親、その両親、そのまた両親…と30代さかのぼると、先祖の数は約11億人になる」「両国のマクドナルドでは、白星の力士はバリューセットが無料になるサービスがある」など。ちなみに答えは全てYes)。英語eラーニングでは学生に毎週Self-evaluation Formという自己評価シートを提出してもらっているが、それによると「この慣らし運転のお陰で使い方がわかってよかった」「楽しくやっていけそうな気がした」というコメントが毎年複数寄せられる。

(ii) 今日の一曲(穴埋め-選択式)

毎回の授業冒頭に「今日の一曲」を流し、それを楽しく聴きながら、歌詞の穴埋めをする。

このアクティビティの目的は、頭を英語モードにするためのウォーミングアップである。

また、遅刻者がいた場合、彼等のパソコン立ち上げ(数分かかる)を待って本題のアクティビティを皆同時に始められるという利点もある。所定の欄に曲解説や日本語訳、「空欄は全て韻を踏んでいる」などのヒントを書いておくこともできる。注意点は、歌詞全体と選択肢(下方に表示)が一望できた方が解きやすいため、あまり長い歌詞のものは向かないこと。また、紙面での同様のクイズと比較して問題数(空所)を少な目にした方がいいこと、空所と空所の間をある程度離すこと、皆が知っている単語を解答とすること、が必要であると思う。ちなみに選曲にはかなりの時間を割いた。発音が不明瞭なものや、速度が速すぎるものは向いていない。あまり騒々しいものには抵抗がある学生もいるので、そこには気を配り、ポップで耳障りのいいものを選ぶ。CMなどで流れているような、有名曲が好評である。馴染みのないものであれば、曲についていくのが精一杯で、問題を解くことに労力が回らない恐れがある。有名曲を流す理由はもうひとつある。学生たちが大学を卒業して、街中やテレビで同じ曲を耳にした時、大学の授業を思い出し「そういえばまた、英語やってみようか!」という気持ちになってもらいたい…というような多少センチな気持ちが入っていたりする。Self-evaluation Formにはその日の学習内容の他に、このコーナーに関する感想も多く、「知っている曲でテンションが上がりました」「目が覚めました」「洋楽を聴くことにハマってしまって、毎回ネットで探して聞いています」「カラオケで歌いました」などのコメントが寄せられている。特に人気のある曲は以下の通り。

Que Sera Sera/Dorris Day,
Dancing Queen/ABBA, I'm
in the Mood for Dancing/The
Nolands, Change the World/Eric
Clapton, black bird/The Beatles,
Raindrops Keep Falling on My
Head/B.J.Thomas

(iii) 復習単語テスト (多肢選択ラジオボタン)

英語 eラーニングで使用しているネット上教材 ALC NetAcademy に準じて作成している復習単語テスト。授業最後に解かしている。紙面でのテストと比較しての利点の1つは、選択式であるため解く際の負担が少ないこと。2つ目は、その場で結果がわかること。そして、3つ目は、欠席した学生も自宅で解いておくことができること、である。

(iii) 映画クイズ (正誤問題 / 並び替え)

授業のハーフタイム時に動画 (映画の一部など) を観る時間を設けている (5分~10分)。

使用するものはジブリ映画 (英語吹き替え) からドキュメンタリー、スピーチまで様々である。その内容に即した CHORUS クイズを作成しておき、鑑賞後学生に解かしている。これは大筋についての正誤問題であったり、印象的なセリフの並び替え問題であったりする。このコーナーはあくまでも息抜きのためのものなので、誰でも解けるような易しい問題を用意することになっている。ちなみに、PC スクリーン使用後の気分転換を兼ねたこの時間にも前方の大スクリーンを見させるため、鑑賞後は目の体操をしたり、休憩についてのトリビア (例: 心臓は稼働時間: 休憩時間の比率が 9:15 で、

休み時間が多い。長く働いていくためには疲れる前に休むことが必要であることを心臓から学ぼう!) を話したりして和ませるようにしている。

3. 貼り付けて使う「教材」機能

英語 eラーニングご担当でない先生方には少し退屈させてしまったと思うが、ここではどの授業でも使用できる「教材」機能について紹介したいと思う。「教材」ボタンから中に入っていくと、そこに様々な教材をアップロードできるようになっている。私はここに学習に役立つ情報 (Word) を学生がいつでも見られるように添付している。以下、過去にアップしたものを記す。

(i) 英語学習 FAQ

学生によく聞かれる英語学習にまつわる質問や、自分が英語学習者としてやってきたことで役に立ったことや気づいたこと、などをまとめたもの。

(ii) 多読について

多読についての解説 (好きなジャンルのやさしい本を辞書を引かずに、語順のまま直読直解して読むことの大切さ etc...) や注意点 (相性が合わず、ページが進まない場合は無理をせずに他の本に移る etc...) を書いたあと、洋書 (graded readers やエッセイ本、漫画など) を紹介。

(iii) お奨めの学習サイトの URL

ello (<http://www.ello.org/>)、ニュースで英会話 (<http://cgi2.nhk.or.jp/e-news/>) など、自宅学習に最適だと思われるウェブサイトの紹介。

(iii) お奨めの洋画

「お奨めの洋画ありますか?」と頻繁に聞かれるため、お奨めの映画をジャンル別(ドラマ / 時間軸ズラシ系 / どんでん返し系など)にまとめたリストを添付した。学期終了時まで随時更新中。

(iiii)

その日に鑑賞する映画やインタビュー動画のスク립ト(Word)をアップしておき、鑑賞前にあらかじめ目を通させたり、鑑賞後の解説時に使用することができる。

4. 最後に

CHORUS はどのパソコンからもアクセスでき、いつでもアップデートができる便利な学習支援ツールである。今回は主に英語 e ラーニングの教室で実際に学生を目の前にしながら「テスト」機能を使用する、という場面を中心に事例を紹介させて戴いた。しかし、ここで登場した各機能はその他の授業でも利用可能である。例えば Writing の授業の場合、期限を決めてレポートを提出させることができるし、“A topic sentence is always the first sentence (T/F)” など、Writing のルールに関する復習テストを作成し自宅で解かせることもできる。Presentation の授業の場合、最終プレゼンテーション用の PowerPoint を期限を切って提出させることができる。そしてプレゼン当日にはそれらを一括して PC にダウンロードして使用することもできる(これにより USB を忘れてしまいプレゼンができない、という悲惨な事態を防ぐことができる)。さて、これまで、さも CHORUS を使いこなしているかのように書いてしまったが、冒頭にも書いたように、私の CHORUS 歴はとても浅いものである。そんな私でも、色々な機

能を今ではなんとか使えている。今ならば多少の自信を持って「CHORUS 使ってますよ」と言えるだろう。もし皆さんが一度も CHORUS を使った経験がなく、少しでも興味を持たれたなら、是非一度使われてみては如何だろうか。

いしかわ たけし
(本学教育講師)